

平成 27 年 8 月 24 日
気 象 庁 観 測 部 ・
気 象 衛 星 セ ン タ ー

お 知 ら せ

～ 気象衛星観測月報の収録内容の変更について～

ひまわり 8 号の運用開始に伴い、別表のとおり、「気象衛星観測月報」の収録内容の変更を 2015 年 7 月号から行いますので、お知らせします。

【メディア】

収録するデータ量の増加により、CD2 枚から DVD1 枚に変更する。

【今後の収録項目】

項目	今後の内容	従来からの変更点
フルディスク（全球）雲画像	<p>フルディスク観測から作成したフルディスク画像を収録。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・領域：フルディスク ・種別：可視 3 バンド合成カラー （バンド 1,2,3 の合成） バンド 13（ひまわり 7 号の赤外 1 に相当） バンド 8（ひまわり 7 号の水蒸気に相当） ・時刻：可視 3 バンド合成カラーは 00,03,06,09,21（UTC） バンド 13 とバンド 8 は 00,03,06,09,12,15,18,21（UTC） ・ファイル形式：PNG 形式 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 可視画像について、陸地と海を擬似的に着色した画像から、ひまわり 8 号の可視 3 バンドのデータから合成したカラー画像を収録する。 ・ ファイル名を変更する。 可視 3 バンド合成カラー： H08_yyyyMMddhhmmss_TRC_GPF.D.png バンド 13(ひまわり 7 号の赤外 1 に相当)： H08_yyyyMMddhhmmss_B13_GPF.D.png バンド 8(ひまわり 7 号の水蒸気に相当)： H08_yyyyMMddhhmmss_B08_GPF.D.png （「yyyyMMddhhmmss」は年月日時分秒を表す） <p>運用衛星の交代やバックアップにより、ひまわり 9 号の観測データを収録する際は、ファイル名冒頭の「H08」が「H09」に変わる。バックアップにより、ひまわり 7 号の観測データを収録する際は、ファイル名は以下ようになる。</p> <p>可視 3 バンド合成カラー： H07_yyyyMMddhhmmss_VIS_GPF.D.png バンド 13(ひまわり 7 号の赤外 1 に相当)： H07_yyyyMMddhhmmss_IR1_GPF.D.png バンド 8(ひまわり 7 号の水蒸気に相当)： H07_yyyyMMddhhmmss_WV_GPF.D.png</p>

項目	今後の内容	従来からの変更点
日本域雲画像	<p>フルディスク観測から作成した日本域の画像を収録。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・領域：北緯 15～50 度、東経 115～150 度 ・種別：バンド 3 (ひまわり 7 号の可視に相当) バンド 7 (ひまわり 7 号の赤外 4 に相当) バンド 8 (ひまわり 7 号の水蒸気に相当) バンド 13 (ひまわり 7 号の赤外 1 に相当) ・時刻：毎正時 (バンド 3 は 10～20 (UTC) を除く) ・ファイル形式： SATAID 形式 (DVD に収録のソフトで表示可能) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ファイル名を変更する。 バンド 3 (ひまわり 7 号の可視に相当)： visyyyyMMddhh.Zmmss バンド 7 (ひまわり 7 号の赤外 4 に相当)： ir4yyyyMMddhh.Zmmss バンド 8 (ひまわり 7 号の水蒸気に相当)： ir3yyyyMMddhh.Zmmss バンド 13 (ひまわり 7 号の赤外 1 に相当)： ir1yyyyMMddhh.Zmmss (「yyyyMMddhh」は年月日時、「mmss」は分秒を表す)
風ベクトル	<p>時間の連続するフルディスク観測画像からわかる、雲及び水蒸気の移動した向きと量から上空の風を算出したデータを収録。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・領域：衛星天頂角 65 度未満の領域 ・時刻：毎正時 ・ファイル形式：テキスト形式 	<ul style="list-style-type: none"> ・ これまでの「雲移動風ベクトル」と「水蒸気風ベクトル」を統合して収録する。 ・ ファイル名は雲移動風ベクトルと同じ「yyyyMMddCMW.TXT」に統一し、水蒸気風ベクトルのファイル名は使用しない。 (「yyyyMMdd」は年月日を表す)
エアロゾルの光学的厚さ	<p>バンド 3,4,6 の毎正時のフルディスク観測データから算出されたエアロゾルの光学的厚さの、日平均値を収録。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・領域：北緯 17～52 度、東経 114～160 度 ・ファイル形式：テキスト形式 	<ul style="list-style-type: none"> ・ これまでは海域のみのデータだったが、陸域のデータも算出して収録する。
海面水温	<p>バンド 11,13,14 のフルディスク観測データから算出した海面水温の 10 日平均値 (各月の上旬・中旬・下旬の 3 ファイル) を収録</p> <ul style="list-style-type: none"> ・領域：北緯 50～南緯 50 度、東経 90～西経 170 度 ・ファイル形式：テキスト形式 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ひまわり 8 号の観測データを用いた当該プロダクトの作成に準備が必要なため、当面はひまわり 7 号のデータとなる。 ・ ひまわり 8 号の観測データを用いたプロダクトは 2015 年 10 月号から収録する。

項目	今後の内容	従来からの変更点
雲量格子点データ	<p>各バンドのフルディスク観測データから求められる、全雲量・上層雲量・対流雲量・雲型・雲頂高度の情報を収録。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・領域：赤道～北緯 52 度、東経 114～180 度 ・時刻：毎正時 ・ファイル形式： GRIB2 形式(DVD に収録のソフトで表示可能) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ひまわり 8 号観測データを用いた新しいアルゴリズムにより算出したデータ(改良型雲量格子点情報(1))を収録する。 ・ 収録されるデータの算出領域は左記の内容に変更となる。 ・ ファイル形式は SATAID 形式から GRIB2 形式に変更する。 ・ ファイルはこれまで全雲量・上層雲量・対流雲量・雲型・雲頂高度の要素がひとつにまとめられていたが、今後は要素ごとにファイルを分けて収録する。 <p style="margin-left: 40px;">ファイル名</p> <ul style="list-style-type: none"> 全雲量 : tac_nwp_yyyyMMdd_hhmm.grib2 雲型 : ahc_nwp_yyyyMMdd_hhmm.grib2 雲頂高度 : htc_nwp_yyyyMMdd_hhmm.grib2 上層雲量 : cvc_nwp_yyyyMMdd_hhmm.grib2 対流雲量 : clc_nwp_yyyyMMdd_hhmm.grib2 <p style="margin-left: 40px;">(「yyyyMMdd」は年月日、「hhmm」は時分を表す)</p>
衛星画像ビューワプログラム	日本域雲画像と雲量格子点データを表示するためのソフト	<ul style="list-style-type: none"> ・ 雲量格子点データのファイル形式の変更に対応し、バージョンアップ(過去の SATAID 形式のデータも表示可能)。

1 配信資料に関する技術情報(気象編)第 410 号第 5 部参照(<http://www.data.jma.go.jp/add/suishin/jyouhou/pdf/410.pdf>)

【収録を終了する項目】

項目	補足
データカタログ(HRIT)	データの取得状況を html 形式で収録していたが、画像の有無や品質の情報を記したテキストファイルを「フルディスク(全球)雲画像」と「日本域雲画像」のディレクトリにそれぞれ保存しているため、こちらに統一する。 なお、今後は気象衛星センターホームページ(2)にも同様の運用情報を掲載する。
雲移動風ベクトル 水蒸気移動風ベクトル	両者を統合し、今後は「風ベクトル」として収録する。
雪氷域判定指数	ひまわり 8 号では当該データを作成しないため、収録を終了する。

2 日本語版 http://www.data.jma.go.jp/mscweb/ja/operation8/bulletin_list_H8.html

英語版 http://www.data.jma.go.jp/mscweb/en/operation8/bulletin_list_H8.html